

The title of our information paper "i-co" is pronounced the same as the Japanese word "aiko," which means here an equal relationship where no one wins or loses. The purpose of this free paper is to offer useful information for everyone, with and without disabilities, with the motto of "Sharing and Caring."

「あいこ」は、勝ちも負けもない対等な関係を表す言葉です。「あいこ」は、この分かち合いの精神で、障がいのある人ない人にかかわらずお役に立つ情報を発信します。

i-feature

## スリランカより アイをこめて

内戦を経て、新たな国づくりに取り組むスリランカ。  
かつての激戦地にて開催された  
障がい者芸術と平和の祭典の様子をご紹介します。



### スリランカから届いた一枚の絵

障がい者によるアート作品を社会に発信する「ビッグ・アイ アートプロジェクト」。アート作品の公募事業「作品募集2012」において、ビッグ・アイ賞に選ばれたのは、スリランカに住む少女ドウラクシさんが、シンハラ文字をデザインに取り入れて描いた絵画「A design using Sinhala letters」でした。

遠方のため、2012年11月に開催した表彰式に来ていただくことはできませんでしたが、スリランカの在大阪名誉総領事館を通して表彰状や記念品をお送りしたところ、2013年3月にスリランカのNGO団体ESCO(エスコ)より連絡があり、同国で開催される障がい者芸術の祭典に招待していただくこととなりました。

こうして、遠く海をこえて届けられた一枚の絵をきっかけに2013年9月、ビッグ・アイ アートプロジェクトの入選作品5点を携えたビッグ・アイのスタッフが、スリランカへ向かうことになったのです。



ESCO(エスコ)

今回のイベントを主催するESCO(エスコ)は、正式名称を「Educational Social&Cultural Organization」といいます。団体の設立は1981年。障がい者芸術とスポーツ活動の支援、社会への周知・啓発を目的に活動しているNGO(非政府組織)であり、同団体からは、国内における支援活動のほか、パラリンピックをはじめとした国際的なスポーツイベント、アートフェスティバルやセミナーなど、さまざまな事業に約400名の

障がい者を送り出しているそうです。団体の運営に携わるのは、約50名の無償ボランティアであり、医師や技術者、アーティスト、教師など、さまざまな分野から集まった人々がその活動をサポートしています。

ESCOでは、1981年よりスリランカ政府と企業からの支援を受けて、西部州の都市モラトゥワにて、障がい者芸術の祭典を開催してきました。2013年に同イベントがモラトゥワから遠く離れた東部州の町バツィカロアで開催される理由について、ESCO代表のヴィジャヤさんが、次のように語ってくれました。

「スリランカでは長く内戦が続いていましたが、その内戦も2009年に終わりを迎えました。それから3年目にあたる昨年のフェスティバルでは、激戦地でもあった北部・東部から、障がいのある若者たちがたくさん参加してくれたのです。スリランカが平和になったこと、これからも平和なときが続くことを願い、いまだ内戦の傷跡の残るバツィカロアを開催地に選んだのです。」

(次頁へつづく)

## 内戦をこえて

スリランカ民主社会主義共和国は、セイロン紅茶で有名なインドの南にある小さな島国です。人口約2000万人の約75%を占めるシンハラ人と、タミル人(約15%)、ムアア人(約9%)等により構成される多民族国家でもあります。

1948年に英国から自治領として独立したものの、民族や宗教の違いによる争いが絶えない状況が続きました。1956年、総選挙に勝利したスリランカ自由党が、シンハラ人優遇政策を推進。これが、大規模な民族対立の原因となります。シンハラ人とタミル人との間に起った対立は、1983年にスリランカ全土にわたる争いへと発展。1987年には、タミル・イーラムの独立を主張する反政府組織LTTE(タミル・イーラム解放の虎)が独立を宣言し、散発的なテロが続く長い内戦へと突入します。約30年におよぶ内戦では、全土でテロや暴動が起こり、特にLTTEが拠点とする北部や東部は激戦の地となりました。

政府軍と反政府軍の争いに終止符が打たれたのは2009年。新政府は、「宗教や民族、言語や障がいの有無などに関係なくスリランカに住む人々は、全て愛すべきスリランカ国民であることを国民に提言し、新しい国づくりを始めました。終戦から4年、スリランカでは猛スピードで国の再建が進められています。そして、全てのスリランカ人がひとつになる新たな時代のはじまりを祈念し、かつての激戦地バットिकाロアにて障がい者芸術の祭典が開催されたのです。

## バットिकाロアへ

バットिकाロアは、スリランカ経済の中心都市コロンボから、約330km離れたところにある小さな町です。内戦時には、政府軍による最後の掃討戦が行われた場所でもあり、空爆や地雷により障がい者となった人も少なくないといわれています。

9月13日、日本からの一行は朝の9時にコロンボを出発。コロンボ市内を抜けるとデコボコした悪路を東へ東へと進みました。市内の喧騒



とは違って、のどかな田園風景や茶畑が続きますが、そんな中にも爆撃された建物が現れ、内戦の傷跡を目の当たりにすることとなりました。バットिकाロアに到着した頃には夜の10時を回っていました。フェスティバルの会場となるサルボダヤ・ユース・センターの敷地内には、大型の観光バスが数台停められており、悪路をものともせず、スリランカ国内のさまざまな地域から参加者が集まってきていることがうかがえました。明日からはじまるフェスティバルを楽しみに感じた瞬間でした。



## 手づくりの祭典

9月14日、フェスティバルの初日を迎えたこの日、サルボダヤ・ユース・センターには早朝からにぎやかな人々の声が響いていました。視覚障がい者や聴覚障がい者、車いす利用者、知的障がい者など、障がいの種別や有無に関係なく、500名以上の人々がスリランカ全土から集まってきました。

午前11時、開会の式典が始まりました。ESCO代表のヴィジャヤさんが、開会挨拶の中で次のように語ります。

「遠く日本からビッグ・アイ アートプロジェクトの入選作品が、私たちのフェスティバルに参加してくれました。ドゥラクシさんがビッグ・アイ賞を受賞したことは、私たちの活動やスリランカの障がい者にとって大きな励みとなりました。これは、このフェスティバルが目標とする“人種や宗教、言葉、障がいの有無、そのすべてを乗り越えた平和な世界”をめざすための大きな力です。全てのスリランカ人、世界の人々が幸せになることを願ってフェスティバルを成功させましょう。」



# Big-i世界つながぎ隊 スリランカを訪ねて

### ビッグ・アイアートプロジェクト 番外編

ESCO Very Special Peace Art Festival 2013  
in Batticaloa

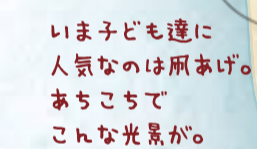
日時: 2013年9月14日(土)・15日(日)  
開催地: スリランカ民主社会主義共和国 東部州バットिकाロア  
会場: サルボダヤ・ユース・センター



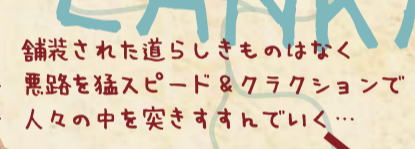
ついでにスリランカのオイシイおもてなし!



スリランカの最上級のあいさつが日本という土産状態! 本当に心から礼をつくすんですね。



いま子ども達に人気なのは兩あげ。あちこちでこんな光景が。



舗装された道らしきものはなく悪路を猛スピード&クラクションで人々の中を突きすすんでいく...



美しい伝統舞踊にうっとり...異国の文化ってほんとにすばらしい!



ドゥラクシと対面! あのすばらしいアートを描いたのは瞳のきれいな少女でした



とにかく子ども達がキラキラ輝いています!

この日は、ダンスやコーラスをはじめとしたパフォーマンスのオーディション(予選)とアートワークショップが開催されました。オーディションを通過したグループが翌日の舞台上で発表するというのです。

会場内には、ビジュアルアーツの展示コーナーもあり、ビッグ・アイ アートプロジェクトの入選作品が、当日のワークショップで作成された作品とともに展示されていました。決して立派な展示会場ではないけれど、手づくりの看板やキャプション(作品解説)など、飾り方をあれこれとみんなで相談し、展示作業を行っている様子に、暖かいものを感じました。



## 豊かな才能の発掘と発信

オーディションで披露されたダンスやコーラスのほとんどは、スリランカの民族舞踊や歌でした。さまざまな地域から参加者が集まったこともあり、スリランカの各地方特有の舞踊や歌もあります。きらびやかな民族衣装に着替えた参加者たちの表情には、緊張の色が見えるものの、ほころぶような笑顔が絶えません。各会場には、参加者のほかにその家族や指導者など、見学する人でいっぱい。今日のオーディションで落選しても、夜には広場で行われる交流会で披露されるようです。

2日目には、スリランカ政府関係者や障がい者団体、支援企業からの挨拶のあと、本選が行われました。舞台では、昨日の予選を通過したチームが各々のパフォーマンスを披露します。舞台を照らす照明や音響の効果によるものか、演者の衣装も一段と映え、パフォーマンスにも一層力が入っているように見えます。厳正な審議の結果、グランプリには、「視覚障がい者職業センターSeeduwa」が選ばれました。



このフェスティバルは、スリランカでアート活動をしている障がい者の発表の場であるとともに、オーディションを通して、ESCOのスタッフやアートの専門家によって才能のあるパフォーマーやアーティストを発掘する場でもあります。選ばれたパフォーマーやアーティストが才能を伸ばし、活躍の場をひろげることで、スリランカを代表する存在になれるよう、ESCOがサポートしているのです。ビッグ・アイ賞を受賞したドゥラクシさんもその一人なのです。

## ドゥラクシ・マヘシカ・フェルナンド

ドゥラクシさんは、ダウン症をもつ17歳の少女です。西部州モラトゥワにあるメス・ミヒラ支援教育センターに通っています。絵を描くことが大好きな彼女は、毎日学校に新しい絵を持っていくのだといいます。コンテストがあれば、必ず出品したがるという積極性が、今回の受賞につながったようです。

会場でアートの展示を見ていると、髪を三つ編みにした青いTシャツの少女が近づいてきました。ドゥラクシさんです。彼女のお母さんが、受賞時のうれしさや、絵を描くことがもっと好きになったことを話してくれました。この日もアートワークショップに参加するために来たということでした。飾られた絵をじっと見ていた彼女が、振り向きざまに見せたはにかむような笑顔には、私たちが歓迎してくれているようなあたたかさを感じました。

## 違いをこえて、アイを

このフェスティバルに参加して感じたことは、スリランカでは、想像以上に障がい者のアート活動やスポーツが盛んであったことと、障がい者の人たちがアクティブであることです。社会の変化に対する期待と新たな国づくりへの希望が、その源となっているのでしょうか。年々ESCOのアート活動への参加者も増えているようで、障がいのある人たちが活動できる場所を増やし拡大していくことが今後の課題になるだろうと思いました。

スリランカから届いた一枚の絵をきっかけにできた縁。今年のアートプロジェクトの作品募集にも日本国外の11の国から152作品の応募がありました。「ビッグ・アイアートプロジェクト」で、世界の多くの国と人種、言葉、障がいの有無を超えて、互いを知り、理解し、助け合えることが実現できればと考えています。

ドゥラクシさん



## Information

### ビッグ・アイ 災害時要援護者・支援者のための防災・減災講座を開催します。

災害時要援護者支援ボランティアリーダーの養成、平時の防災活動や支援体制づくり、要援護者自身の減災活動推進等を目的として、障がい当事者・支援者の講義とワークショップによる防災・減災講座を開催いたします。

**講座① 災害時要援護者支援ボランティアリーダー養成講座**  
 対象：災害時要援護者支援ボランティアリーダー及び平時の防災・減災活動を行う意志のある方

**講座② 災害時視聴覚障がい者支援リーダー養成講座** **東京 大阪**  
 対象：視覚障がい者・聴覚障がい者への災害時支援リーダー及び平時の防災・減災活動を行う意志のある方

**講座③ 災害時に動ける障がい者の防災・避難講座**  
 対象：災害に備えようとする障がい当事者、または障がい者に対する災害時支援活動や防災・減災活動を行う意志のある方

※日時・会場については右記のイベントカレンダーをご確認ください。  
 ※詳細・応募方法については、ビッグ・アイホームページをご覧ください。

問合せ 「防災・減災講座」係 TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972  
 E-mail bousai@big-i.jp ホームページ <http://big-i.jp/> **ビッグ・アイ** 検索

## Campaign

### 記念日ご宿泊プラン **1泊2食**

大切な時間を自慢のイタリアンで

お喜びの日・記念日・お祝いの日・誕生日にご利用ください。  
 レストラン「ぐらん・じゅ」でのイタリアンハーフコースディナーがお祝いの日に彩りを添えます。お食事の席には、ささやかではございますがホールケーキをお届けします。心温まるプランをどうぞご利用ください。



■ご利用料金(1泊2食付)

大人(障がい)7,950円/人 (一般)9,750円/人  
 子ども(障がい)5,750円/人 (一般)7,000円/人

ご予約は、ビッグ・アイ宿泊予約サイトからどうぞ。

ビッグ・アイ宿泊予約サイト

<http://www.big-i.jp/hotel/>

※上記プランは2名様以上でお申込み下さい。  
 ※子ども(障がい児)料金は、3歳～小学生が対象となります。  
 ※障がいのある方と同室に宿泊されるご家族・介助者については、障がい者料金を適用させていただきます。

問合せ ビッグ・アイ フロント  
 TEL 072-290-0900 FAX 072-290-0920  
 Eメール front@big-i.jp

## Present!

### プレゼントクイズ

今号の特集記事からの出題

**Q 障がい者芸術の祭典が開催されたスリランカの町の名前は?**



10名様

アートプロジェクト2012の入選作品をデザインに使用した、ビッグ・アイオリジナルタンブラーをプレゼント!!

※デザインはお選びいただけません。

■応募方法

クイズの答えと下記の必要事項をご記入の上、ハガキ、ファックス、Eメールのいずれかで応募ください。

①氏名(ふりがな) ②郵便番号 ③住所 ④電話番号

⑤本紙へのご感想やご希望、ご質問など

正解者の中から抽選で10名様に景品を発送させていただきます。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。※読者のみなさまからいただいたご意見を「i-co」紙面でご紹介する場合があります。予めご了承ください。

■応募締切

2013年12月31日(火)消印有効

■応募先

〒590-0115  
 大阪府堺市南区茶山台1-8-1  
 ビッグ・アイ「i-coプレゼント」係  
 FAX 072-290-0972  
 Eメール i-co@big-i.jp

ご応募の際にお預かりする個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、本紙の運営・実施の目的以外には使用いたしません。



編集・発行 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)広報  
 〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1  
 TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972

発行日 2013年11月30日

# EVENT CALENDAR

情報保障等のアイコン表示

1 January



21日[火]13:00~22日[水]15:00

**講座① 災害時要援護者支援ボランティアリーダー養成講座**

▶講師：八幡隆司(NPO法人ゆめ風基金)  
 田村太郎(一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事)  
 阿部俊介(被災地障がい者センター石巻)

▶場所：研修室▶無料▶申込締切：12月19日(木)▶定員：80名

▶問合せ 防災・減災講座係 072-290-0962

28日[火]13:00~29日[水]15:00

**講座② 災害時視聴覚障がい者支援リーダー養成講座** **東京**

▶講師：八幡隆司(NPO法人ゆめ風基金)  
 加藤俊和/原田敦史(社会福祉法人日本盲人福祉委員会)  
 倉野直紀/藤森秀一(一般財団法人全日本ろうあ連盟)

▶場所：戸山サンライズ(東京都新宿区)

▶無料▶申込締切：12月25日(水)▶定員：80名

▶問合せ 防災・減災講座係 072-290-0962



2 February

1日[土] 14:00~17:00(予定)

**愛カフェ「タイトル未定」**

▶場所：研修室

▶料金：ドリンク代 500円▶定員：40名

▶問合せ 愛カフェ係 072-290-0962



20日[木]13:00~21日[金]11:30

**講座② 災害時視聴覚障がい者支援リーダー養成講座** **大阪**

▶講師：八幡隆司(NPO法人ゆめ風基金)  
 加藤俊和/原田敦史(社会福祉法人日本盲人福祉委員会)  
 倉野直紀/藤森秀一(一般財団法人全日本ろうあ連盟)

▶場所：研修室▶無料▶申込締切：1月16日(木)▶定員：80名

▶問合せ 防災・減災講座係 072-290-0962

21日[金] 13:00~17:00

**講座③ 災害時に動ける障がい者の防災・避難講座**

▶講師：八幡隆司(NPO法人ゆめ風基金)

藤原義朗(高知県視力障害者の生活と権利を守る会)

加藤俊和(社会福祉法人日本盲人福祉委員会)

長谷川芳弘(一般財団法人全日本ろうあ連盟)

小田多佳子(NPO法人ぴーす)

人工呼吸器をつけた子の親の会

▶場所：研修室▶無料▶申込締切：1月16日(木)▶定員：80名

▶問合せ 防災・減災講座係 072-290-0962

3 March

9日[日] 13:30~16:30

**国際セミナー「社会保障考えてみる？」**

～国際比較から考える!社会保障制度、障がい者政策、社会的ビジネスのいままでとこれから～

▶講師：鈴木勉(佛教大学社会福祉学部教授)

瀧澤仁唱(桃山学院大学法学部教授)

訓覇法子(日本福祉大学福祉経営学部教授)

▶場所：研修室▶無料

▶申込締切：2月20日(木)

▶定員：100名

▶問合せ セミナー係  
 072-290-0962



各事業の情報保障の詳細についてはお問い合わせいただくか、ビッグ・アイ ホームページにてご確認ください。